



令和7年3月4日 第54号

学校運営や教育活動について、本校の課題や方向性を明らかにし、改善したいと考え「水沢小学校教育活動に関するアンケート」を毎年実施しています。保護者の皆様にはお忙しい中、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

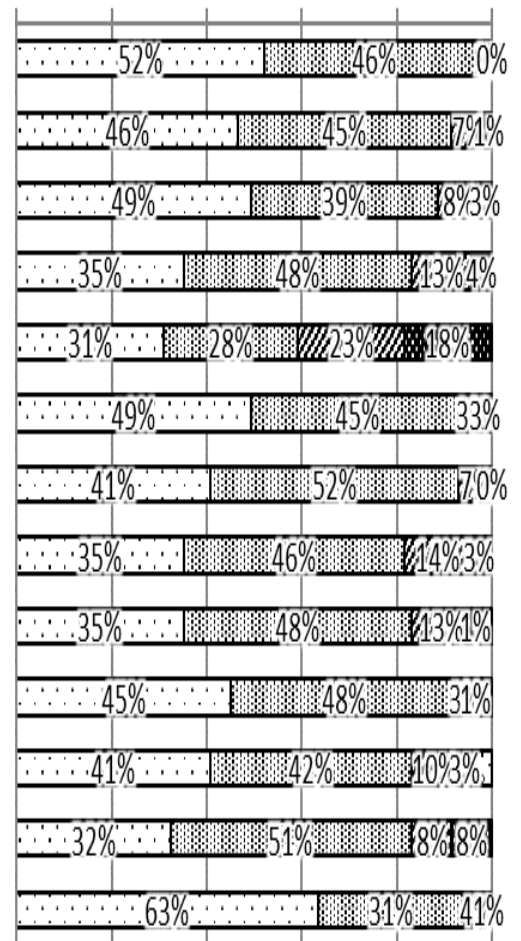
アンケートの結果と考察につきましては、本校の全教職員、さら推進委員で共有をさせていただきました。保護者の皆様からいただきました子どもたちの教育活動に対する思いや願い、ご意見を受け止め、今後さらなる教育活動の改善に努めてまいります。

【令和6年度：教育活動に関するアンケート集計結果】 ●保護者…1月実施 ●保護者アンケート集計結果

※最初に「お子さん」は、とつけ、主語を子どもにして読み取ってください。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

1. 楽しく学校生活を送っていますか。
2. 社会生活上必要なルール等を身につけていますか。
3. 読み・書き・計算など、基礎基本の力を身につけていますか。
4. ご家庭で学校からの課題や自主学習に取り組んでいますか。
5. 読書を楽しんでいますか。
6. 健康で安全な学校生活を送っていますか。
7. 学習や行事で生き生きと取り組んでいますか。
8. 担任や学校に対して相談したり意見を伝えたりしやすいですか。
9. 自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加していると思いますか。
10. 配布物や授業参観、ホームページ等で学校の取り組みがよくわかりますか。
11. 命を大切にする心や人を思いやる気持ちを育てていると思いますか。
12. いじめや差別をなくす仲間づくりに取り組んでいることを、言動を通じて感じますか。
13. 少人数や複数教員による指導（チームティーチング等）は、今後も取り入れたほうが良い。



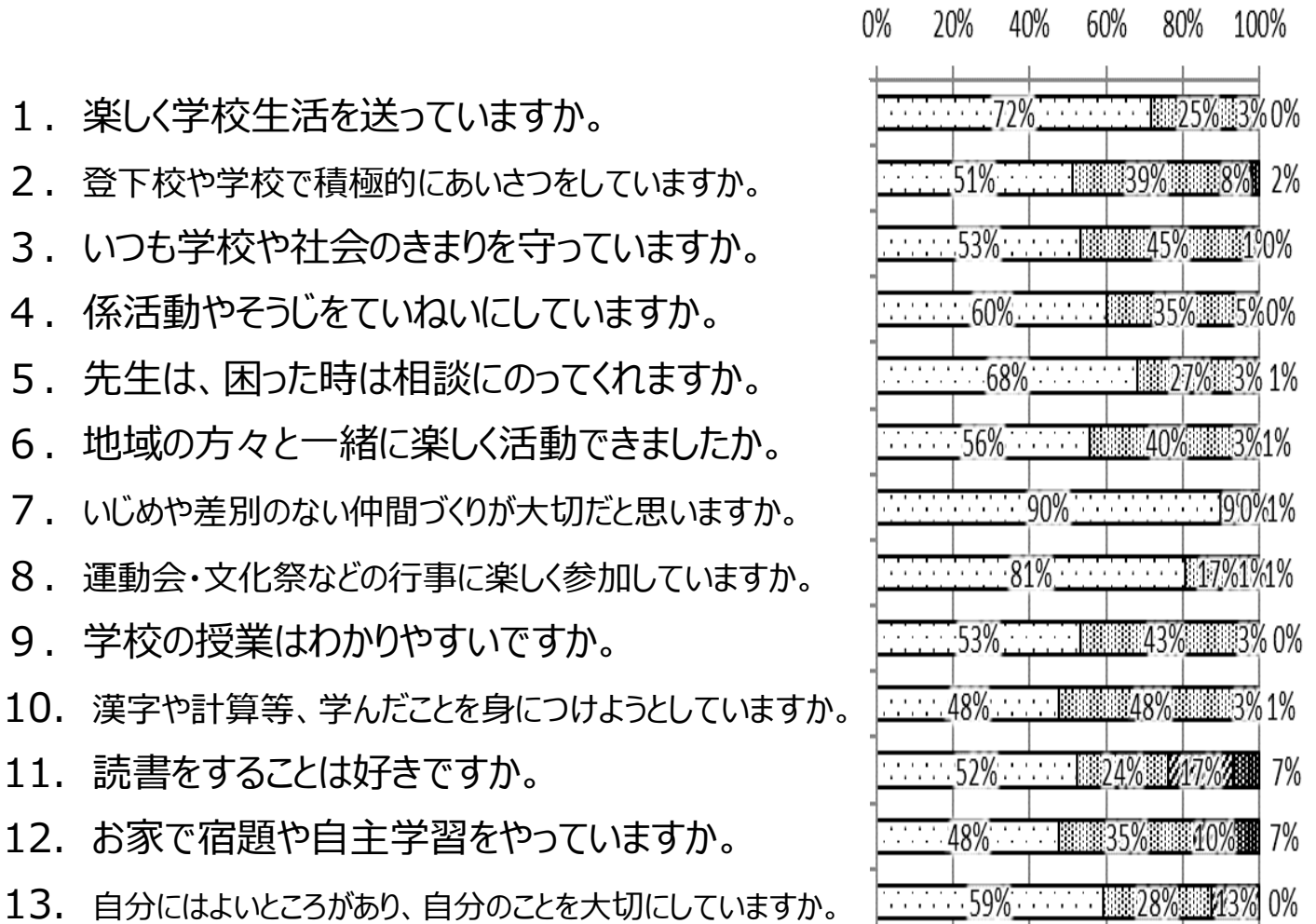
<結果と考察(保護者編)>

□はい □ややはい □ややいいえ □いいえ □わからない

- ・「1, 2, 6, 7, 10, 13の項目」については、90%を超えるご家庭から肯定的な評価をいただきました。子どもたちの多くはルールを守り、楽しく健康で安全な学校生活を送っていることが感じ取れました。**保護者の皆様には、道徳教科や人権学習の時間について理解していただき、配付物やホームページもよく見ていただいていることが伺えます。**
- ・「4 学校からの課題や自主学習に取り組んでいますか」については、学習状況を気にかけてみえる方もお見えです。ご家庭での学習習慣(机に向かう)を身に付けさせることで、「3 基礎基本の力の習得」につながればと思います。
- ・「5 読書を楽しんでいますか」については、ご家庭で子どもたちが読書をする姿を見せていないことが感じ取れました。四日市市立図書館が推進しているタブレットを使用しての電子図書利用についても、今後さらに啓発していきます。
- ・「12 いじめや差別をなくす仲間づくりに取り組んでいることをお子さんの言動を通じて感じますか」について、学校は

道徳教科や人権学習の時間を通じ、ひと(相手)を大切にすることができるような心情を育てようとしています。また、まだ日常生活の態度としては活かされず、子どもたちに力をつけきれないと感じます。

【令和6年度：教育活動に関するアンケート集計結果】○児童・・・12月実施 ○児童アンケート集計結果



<結果と考察(児童編)>

□はい □どちらかといえばはい □どちらかといえばいいえ □いいえ

- ・ほとんどの項目で、子どもたちが肯定的な回答をしていました。学校や社会の決まりを守り、係活動やそうじをがんばっています。先生や地域の方々と楽しく活動ができ、さまざまな学校行事にも楽しく参加していることが伺えます。
- ・「2 積極的に挨拶をしていますか」については、昨年度より10%ほど肯定的な意見が増えています。地域、保護者の皆様のお力も借り、人と人とのつながりができていくように、あいさつの習慣づけができるようにしたいと思います。
- ・「学習に関する項目」では、がんばっている子とそうでない子とに分かれているように感じました。子どもたちも自覚をしているようです。ご家庭でも、子どもたちが机に向かって学習する習慣がつくように、ご支援、ご協力をお願いします。
- ・「11 読書をすることは好きですか」については、肯定的な評価が76%と、昨年度より7%ほど読書好きの子どもが減っています。読書強化週間の充実、読書活動支援員による「読み聞かせ」の実施、タブレットを使ったデジタル図書の推進等、子どもたちの意欲・関心を高められるように、機会を捉えて読書にふれられる時間を設定していきます。

【全体を通して】

- ・「子どもたちが教員や保護者にしっかりと自分の話を聞いてほしい」という気持ちのあることが、このアンケートから読み取れました。そうすることで、子どもたちの自尊感情(自己肯定感)を高めることにつながっていくように考えます。全体的な割合としては小さいですが「私のことを見てほしい」という気持ちを持つ子どもが、一定数いることも事実です。日頃の生活において、子どもたちの裏側にひそんでいる寂しい気持ちを受け止められるように、教員、保護者、地域の皆様で子どもたちを見ていくことが大切だと考えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(文責 北住 昌文)